



●この取扱説明書は大切に保管してください。

マックス タイムレコーダ

— ER-110SⅢ / ER-110SⅢW —

取扱説明書



注意	ご使用上の注意	1~4
	目次	5
操作編	① ER-110SⅢ/110SⅢWの特長	6.7
	② 各部の名称とはたらき	8.9
	③ 毎日の使い方	10~17
設定編	④ 設定の仕方	18~28
	4-1 締日の設定	
	4-2 始業時刻の設定	
	4-3 終業時刻の設定	
	4-4 残業時刻の設定	
	4-5 日付変更時刻の設定	
	4-6 西暦年月日の合わせ方	
	4-7 現在時刻の合わせ方	
	4-8 計算項目の設定	
	4-9 丸め方法の設定	
	4-10 丸め単位の設定	
使用中に	⑤ インクリボンの交換方法	29、30
	⑥ こんな時は	31
	⑦ エラー一覧	32
	⑧ 商品仕様	33
	⑨ 保証書とアフターサービス	33
	マックス拠点一覧	背表紙

- ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。
- この取扱説明書と保証書は必ず保管してください。
- この取扱説明書の内容を無断で転載することは禁じられています。
- 本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

このたびは、マックスタイムレコーダER-110SⅢ、ER-110SⅢWをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用前に本取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

ご使用上の注意

■表示について

この取扱説明書および商品には、本機を安全に正しくお使いいただくために、いろいろな表示を使用しています。その表示と意味は次のようになっています。



警告

取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定され、絶対に行なってはいけないことが書いてあります。



注意

取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性が想定され、絶対に行なってはいけないことや、物的損害のみの発生が予想され、絶対に行なってはいけないことが書いてあります。



お願い

本機が故障して修理が必要となることが想定される操作や、現状復帰するために、リセットなどの操作が必要になるので絶対に行なってはいけないことが書いてあります。



操作上のポイントおよび知っていると便利なことが書いてあります。



取扱説明書のページが異なる場合に参照するところが書いてあります。

■絵表示について



記号は「気を付けるべきこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な注意内容です。







記号は「してはいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な禁止内容です。






記号は「しなければならないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な指示内容です。

ご使用上の注意

⚠ 警告

	●本機は絶対に分解または改造しないでください。火災、感電、故障の原因になります。
	●本機の内部に指、ペン、針金などの異物を差し込まないでください。故障や感電、けがの原因になります。 ●電源は直接コンセントから取り、 <u>タコ足配線はしないでください</u> 。火災の原因になります。 ●電源コードの上に重たいものを絶対にのせないでください。コードに傷が付いて、火災や感電の原因になります。 ●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。 ●水、薬品などが本機にかからないようにしてください。故障や感電の原因になります。
	●電源は100V専用コンセントを使用してください。100V以外の電源を使用すると、故障や火災、感電の原因になります。
	●万一内部に水などが入った場合は、電源プラグをコンセントからすぐに抜いて販売店に修理を依頼してください。そのまま利用すると、故障や火災、感電の原因になります。 ●故障のまま本機を使わないでください。煙が出ている、変な音やにおいがするなど故障のまま使用すると火災、感電の原因になります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理を依頼してください。

⚠ 注意

	●大きな容量を必要とする機器（冷暖房機器、冷蔵庫、電子レンジ、OA機器等）とコンセントを共用しないでください。電圧が下がり本機が誤動作する可能性があります。 ●紙や布を本機の上にかぶせたり置いたりしないでください。火災や故障の原因になります。
	●プリンタヘッドには絶対にさわらないでください。印字直後のプリンタヘッドは高温になっており、やけどの原因になります。
	●長時間使用しないときは、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 ●設置場所を移動する時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。無理をするとコードが傷つき、火災、感電の原因になります。

ご使用上の注意

⚠ 注意



- インクリボンの交換の際には、必ず電源プラグを抜いてください。本機が不意に動作した時、けがの原因になります。
- 壁への取り付け作業を行う際には、必ず電源プラグを抜いてください。本機が不意に動作した時、けがや故障の原因になります。



- 電源プラグは定期的に掃除してください。長い間にホコリ等がたまり、火災や故障の原因になります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っばらずに、必ず、電源プラグを持って抜いてください。コードが破損して、火災や感電の原因になります。
- インクリボンの交換の際、万一、指や体にインクが付着した場合は、すぐに石鹼水で洗い流してください。
- 本機は必ず水平に設置してください。ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に設置しないでください。倒れたり台から落ちたりして、けがや故障の原因になります。
- 壁に掛けて使用するときには、本機の重さを十分支えられる壁にしっかりと固定してください。落ちたりして、けがや故障の原因になります。

お願い

本機のトラブルを避け、故障を未然に防止するために、下記の事項を必ず守ってください。

- トラブルの原因になりますので次のような場所では使用および保管をしないでください。
 1. 直射日光の当たる場所やヒーターなどの熱源に近い場所
 2. ホコリや湿気の多い場所
 3. 傾いたり振動や衝撃の加わる場所
 4. 温度0℃以下、40℃以上になる場所
 5. ゴキブリなどのいる場所
- 本機の汚れを落とす際は、乾いた柔らかい布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどの有機溶剤や薬品は使わないでください。変形したり変色するなどの原因になります。
- 専用タイムカード「ER-Sカード」以外は使えません。又、折れ曲がったり、破れたり、濡れたカードは絶対に使用しないでください。
- インクリボンは必ず「ER-IR100」をご使用ください。
- カードの横のパンチ穴をふさいだり、破損させたりしないでください。本機は、タイムカードのパンチ穴を読みとって印字欄を決定します。
- タイムカードを強く押し込んだり、印字中に抜いたりしないでください。カードは自動的に引き込まれ、自動的にもどります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

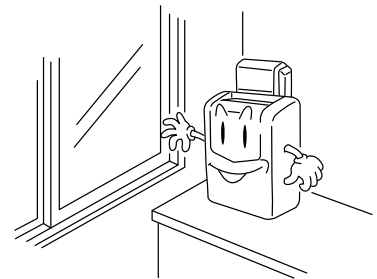
3 取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

ご使用上の注意 <ER-110SⅢWのみ>

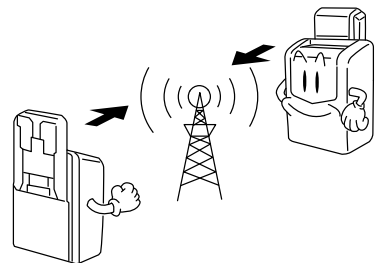
⚠ 注意

⊘	<ul style="list-style-type: none"> ●電波受信ユニットを無理に引っばらないでください。けがや故障の原因になります。 ●電波受信ユニットのケーブルの上に重たいものを絶対にのせないでください。ケーブルに傷が付いて、火災や感電の原因になります。
!	<ul style="list-style-type: none"> ●タイムレコーダ本体に電波受信ユニットを取り付ける場合、<u>付属のネジでホルダをしっかりと固定</u>してください。落ちたりして、けがや故障の原因となります。 ●タイムレコーダ本体に電波受信ユニットを取り付ける場合、<u>ケーブルをフレーム背面に巻き付けて</u>ください。ケーブルのたるみは、落下、故障の原因となります。 ●電波受信ユニットを壁に掛けて使用するときは、<u>付属のネジを使用し壁にしっかりと固定</u>してください。落ちたりして、けがや故障の原因になります。

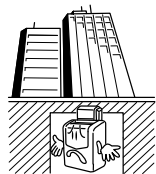
- 受信状態をよくする為に、なるべく窓の近くに設置してください。鉄筋のビル内などでは窓から遠くなると著しく電波が弱くなります。



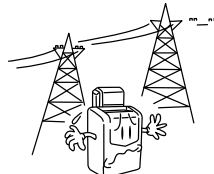
- 電波時計は時計の設置方向によって受信感度が変わる場合があります。木造の建築物では受信アンテナを電波送信所（福島局あるいは九州局）のある方向に向けて垂直に設置すると受信しやすくなります。鉄筋の建築物の場合は窓の大きさや窓からの距離等により、受信しやすい向きが変わります。



- 受信しにくい、できない状態



ビルの地下や窓のない所など



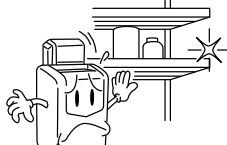
高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く



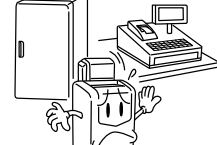
工事現場、空港の近く、交通量の多い所など



電化製品やOA機器の近く



金属製の棚、壁などの近く



レジスター、冷蔵庫などの近く

目次

ご使用前に

- ご使用上の注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1～4
◆ご使用される前に必ずお読みください

操作編

- ① ER-110SⅢ/ER-110SⅢWの特長・・・・・・ 6
◆本機の特長となる仕様、付属品について
- ② 各部の名称とはたらき・・・・・・・・・・・・ 8、9
◆各部のはたらき、操作ボタンの説明について
- ③ 毎日の使い方・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10～17
◆設置方法、電波時計ご使用上のお願ひ、電波時計の使い方
電波時計を使ってみましょう、受信できないときは
毎日の操作方法、時計画面の表示、印字例

設定編


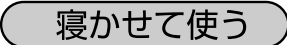




- ④ 設定の仕方・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18～28
- 4-1 締日の設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
◆20日締以外のところに
- 4-2 始業時刻の設定・・・・・・・・・・・・・・ 19
◆遅刻マークを印字させたいところに
- 4-3 終業時刻の設定・・・・・・・・・・・・・・ 20
◆早退マークを印字させたいところに
- 4-4 残業時刻の設定・・・・・・・・・・・・・・ 21
◆残業マークを印字させたいところに
- 4-5 日付変更時刻の設定・・・・・・・・・・・・ 22
◆夜中の3時をまたいで勤務される方がいるところに
- 4-6 西暦年月日の合わせ方・・・・・・・・・・ 23
- 4-7 現在時刻の合わせ方・・・・・・・・・・・・ 24
- 4-8 計算項目の設定・・・・・・・・・・・・・・ 25、26
- 4-9 丸め方法の設定・・・・・・・・・・・・・・ 27
- 4-10 丸め単位の設定・・・・・・・・・・・・・・ 28

ご使用中に

- ⑤ インクリボンの交換方法・・・・・・・・・・ 29、30
- ⑥ こんな時は・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
◆トラブルの症状とその対処方法について
- ⑦ エラー一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32
◆エラー表示の意味について
- ⑧ 商品仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
◆商品仕様、消耗品について
- ⑨ 保証書とアフターサービス・・・・・・・・・・ 33
◆保証内容、アフターサービスについて
- マックス拠点一覧・・・・・・・・・・・・・・・・ 背表紙

① ER-110SⅢ / ER-110SⅢWの特長

特長

- ①西暦年、月、日、時刻は設定済みですので、電源を入れるだけですぐご使用いただけます。
出荷時に締日は20日に設定されております。20日締め以外のお客様は締日の設定が必要です。
- ②設置方法が次の3つから選べます。  P.10、11 設置方法
- 置いて使用 →そのままお使い下さい。
 - 壁に掛けて使用 →ワンタッチで壁に掛けられます。
 - 寝かせて使用 →  ボタンを押すと時計表示が逆さまになり、寝かせて使う時にも時計が読めるようになります。
- ③タイムカードを入れるだけで、毎日のご使用はボタン操作の必要がないタイムレコーダです。  P.16、17 毎日の使い方
- 印字する段や印字欄は自動的に選択されます。
 - 出勤など打ち忘れて退勤するときはボタン操作で印字欄を指定できます。
- ④始業時刻、終業時刻を設定すると、遅刻マーク(チ)・早退マーク(ソ)が自動的に印字されます。  P.19、20 設定の仕方
- ⑤設定により2欄印字または4欄印字を選択できます。2欄印字を選択した場合は所定内時間または残業時間を日毎に計算しタイムカードに印字します。
- 出荷時は「4欄印字」に設定されております。
 - 本機は月の累計は集計できません。  P.25 設定の仕方
- ⑥不意の停電や設定場所の移動によって電源が遮断された場合でも、内蔵のリチウム電池で工場出荷から停電累計5年間は日付、時計、設定内容などのデータを保持します。但し、停電時の印字はできません。
- ⑦標準電波を利用して自動的に時刻を補正しますので、時刻の狂いがありません。(ER-110SⅢWのみの機能となります。)
-  P.11～15 毎日の使い方

① ER-110SⅢ / ER-110SⅢWの特長

付属品

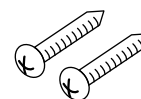
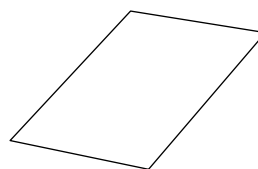
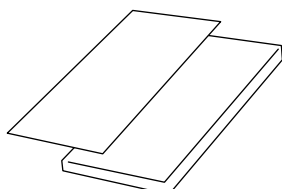
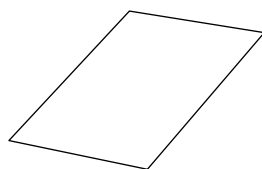
ご使用前に必ずお確かめ下さい。

取扱説明書
(本書) 1冊

サンプルカード
(ER-Sカード) 20枚

お客様登録カード
(保証書) 1枚

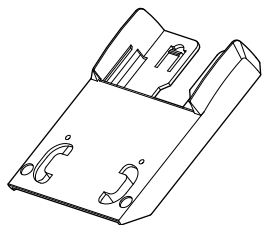
壁掛け用ネジ
(ナベタップピンネジ4X20)
2個



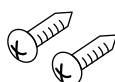
タップタイト3X8

〈ER-110SⅢWのみ〉

電波受信フレーム
1個



電波受信フレーム
取付け用ネジ
(タップタイト3X8)
2個



電波受信ユニット
壁掛け用ネジ
(ナベタップピンネジ4X20)
1個



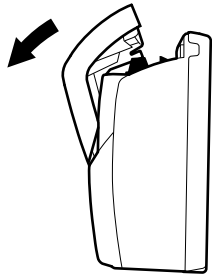
お願い

- お手数ですが、お客様登録カードに所定事項をご記入の上FAXにて送信するかハガキ部分をご投函ください。マックスお客様リストに登録し、アフターサービスに活用させていただきます。
- 操作がわからなくなった時には、本書をお読みいただけますよういつでも取り出せる場所に大切に保管して下さい。

② 各部の名称とはたらき

フロントカバー

インクリボンの交換や設定する時にはずします。



出勤・外出・再入・退勤ボタン

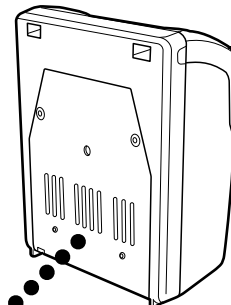
通常は押さなくても印字欄は自動で選択されます。
ボタンを押すとボタンが優先されます。
*但し過去に戻っては打てません。

カード挿入口


タイムカードを挿入します。

表示画面

通常は時刻、日付を表示しています。



壁掛け用フック

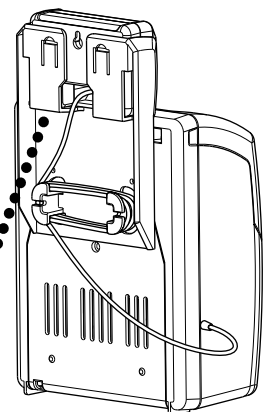
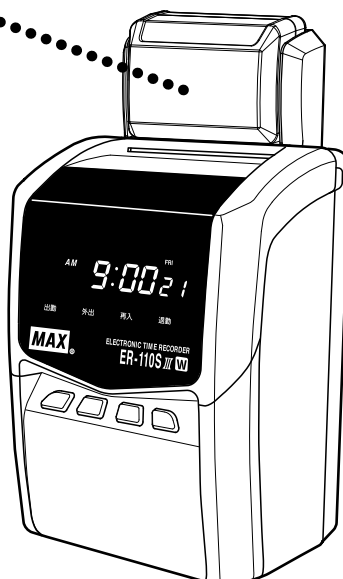
壁掛けで使用する時に取り外し、フックとして使います。  P.10

〈ER-110SⅢWのみ〉

電波受信ユニット

自動的に標準電波を受信し時刻の補正をおこないます。

 P.11~15



電波受信フレーム

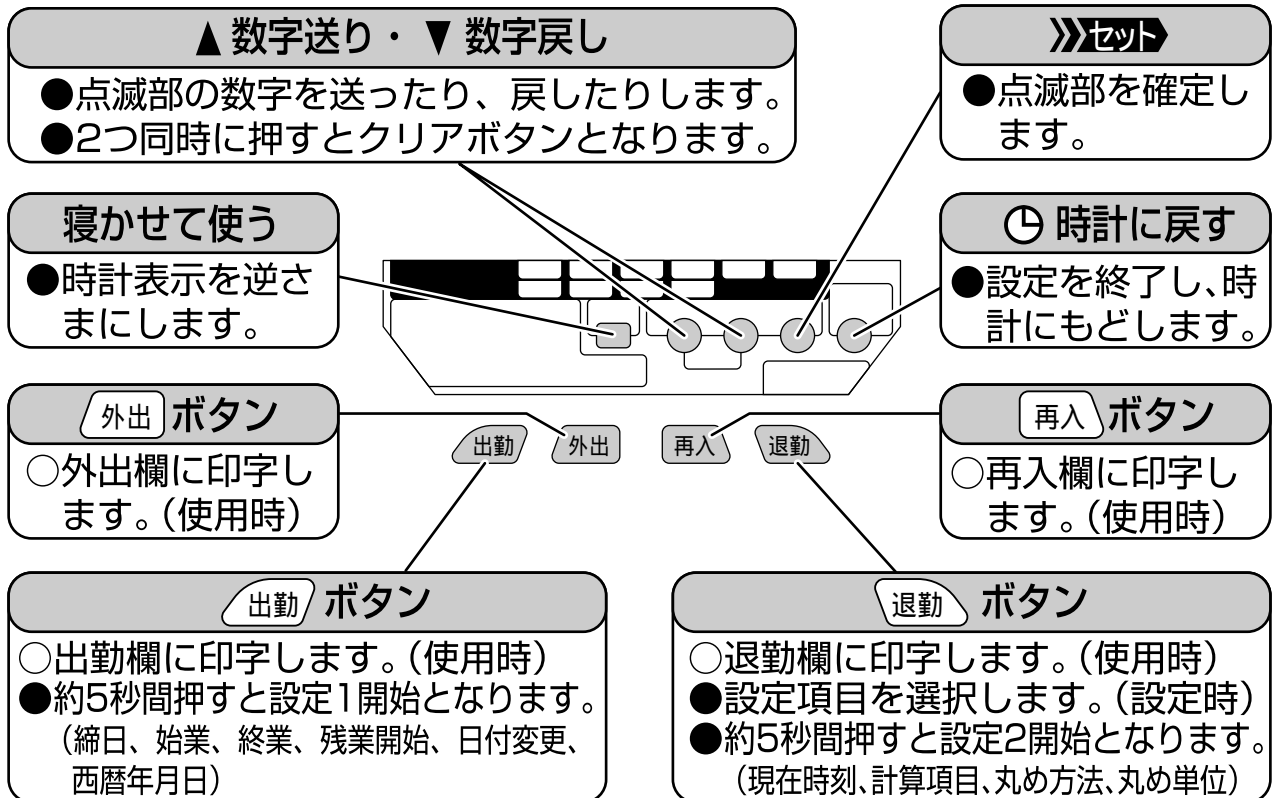
電波受信ユニットを本体に固定する場合に使用します。

 P.11

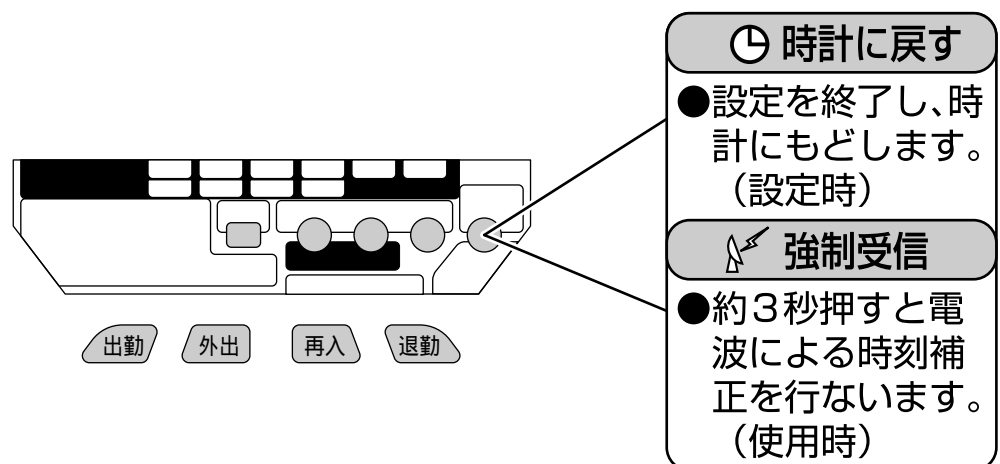
② 各部の名称とはたらき

操作ボタン

〈ER-110SⅢ、ER-110SⅢW共通〉



〈ER-110SⅢWのみ〉



③ 毎日の使い方

設置方法

⚠ 注意



●本機は必ず水平に設置してください。ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に設置しないでください。倒れたり台から落ちたりして、けがや故障の原因になります。

●壁に掛けて使用するときには、本機の重さを十分支えられる壁にしっかりと固定してください。落ちたりして、けがや故障の原因になります。



●壁への取り付け作業を行う際には、必ず電源プラグを抜いてください。本機が不意に動作した時、けがや故障の原因になります。

置いて使う場合

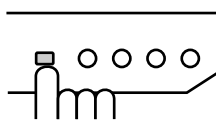
○そのままご使用になれます。

寝かせて使う場合

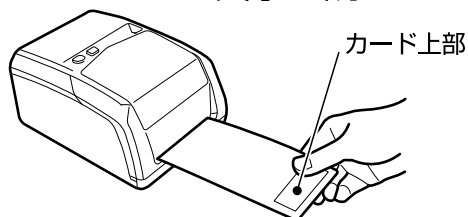
①フロントカバーをはずします。



②寝かせて使うボタンを押します。

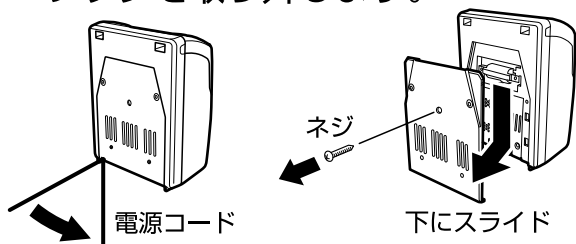


③表示が逆さまになり、手前側からカード挿入しても文字が読めます。

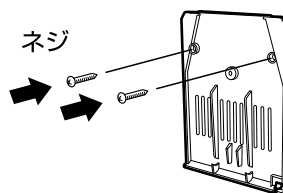


壁に掛けて使う場合

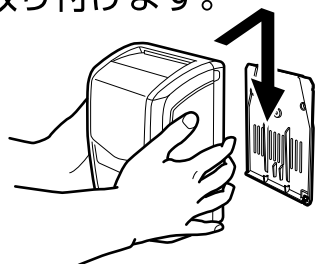
①電源コードを本体底面方向にずらし、背面のネジを外し、壁掛け用フックを取り外します。



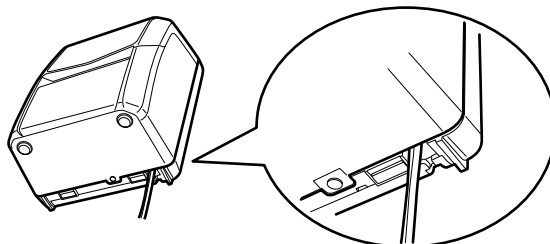
②付属のネジ2個を使い、壁掛け用フックを壁掛けしたい位置に取り付けます。



③本体をフックにスライドさせながら取り付けます。



④電源コードがはさまったり、本体がフックから浮いてしまったりしていないか確認してください。



③ 毎日の使い方

設置方法(電波受信ユニットの設置) <ER-110SⅢWのみ>

⚠ 注意

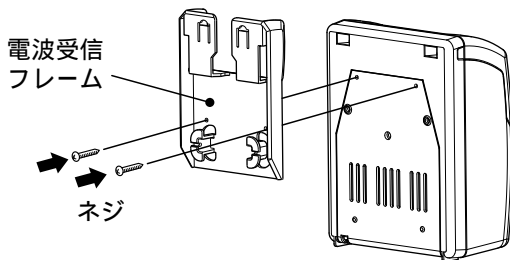
⊘	<ul style="list-style-type: none">●電波受信ユニットを無理に引っぱらないでください。けがや故障の原因になります。●電波受信ユニットのケーブルの上に重たいものを絶対にのせないでください。ケーブルに傷が付いて、火災や感電の原因になります。
!	<ul style="list-style-type: none">●タイムレコーダ本体に電波受信ユニットを取り付ける場合、付属のネジでホルダをしっかりと固定してください。落ちたりして、けがや故障の原因となります。●タイムレコーダ本体に電波受信ユニットを取り付ける場合、ケーブルをフレーム背面に巻き付けてください。ケーブルのたるみは、落下、故障の原因となります。●電波受信ユニットを壁に掛けて使用するときは、付属のネジを使用し壁にしっかりと固定してください。落ちたりして、けがや故障の原因になります。

電波受信ユニットの設置

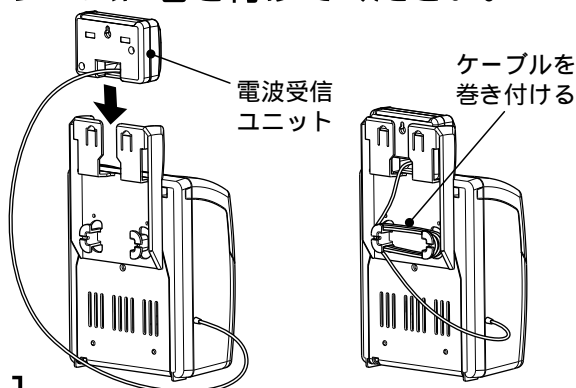
本体を寝かせ使用、壁掛け使用する場合は、本体に取付けず、単体で設置してください。

本体に固定する場合

- ①電波受信フレームを付属のネジで本体背面に取付けます。

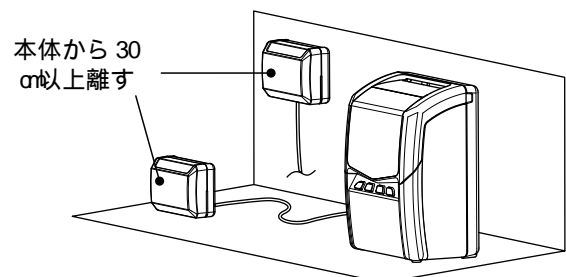


- ②電波受信ユニットをフレームに取付けます。たるんだケーブルはフレームに巻き付けてください。

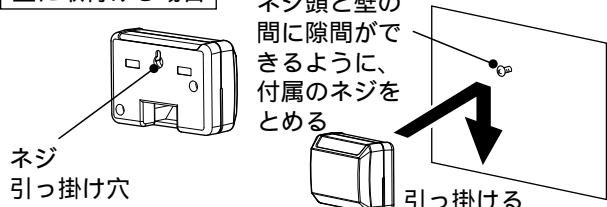


単体で設置する場合

- 電波受信ユニットを設置したい場所に置くか、付属のネジで壁に取付けます。
- タイムレコーダ本体のすぐ近くに設置すると、電波の受信ができない場合がありますので、単体で設置する場合は30cm以上離して設置してください。



壁に取付ける場合

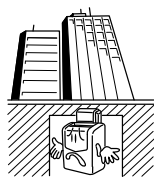
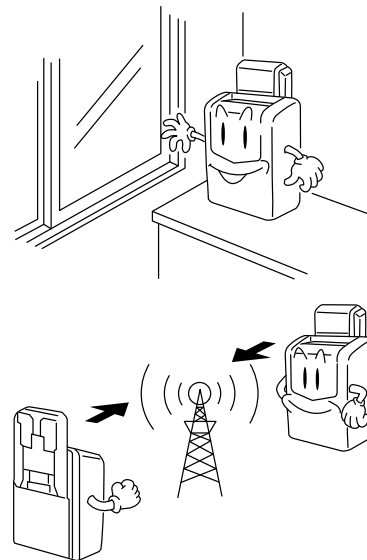


③ 毎日の使い方

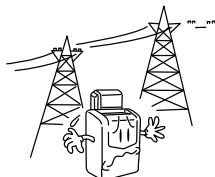
電波時計ご使用上のお願い（ER-110SⅢWのみ）

お願い

- 受信状態をよくする為に、なるべく窓の近くに設置してください。鉄筋のビル内などでは窓から遠くなると著しく電波が弱くなります。
- 電波時計は時計の設置方向によって受信感度が変わる場合があります。木造の建築物では受信アンテナを電波送信所（福島局あるいは九州局）のある方向に向けて垂直に設置すると受信しやすくなります。鉄筋の建築物の場合は窓の大きさや窓からの距離等により、受信しやすい向きが変わります。
- 受信しにくい、できない状態



ビルの地下や
窓のない所など



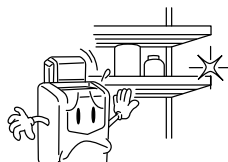
高圧線、テレビ塔、
電車の架橋近く



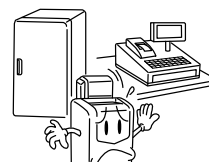
工事現場、空港の近く、
交通量の多い所など



電化製品や
OA機器の近く



金属製の棚、壁
などの近く



レジスター、冷蔵庫
などの近く

- 電波受信ユニットをタイムレコーダ本体のすぐ近くに設置すると、電波の受信ができない場合がありますので、単体で設置する場合は30cm以上離して設置してください。
- 自動時刻補正は設定された日付変更時刻（初期設定AM3：00）の30分後に自動的に電波を受信開始します。この時間帯にタイムレコーダ本体の電源が入っていないと、電波受信を行なえません。夜間にブレーカーを落としたりタイムレコーダの電源を抜いたりしてお使いになる場合には、自動時刻補正させたい日には電源を切らないでください。

③ 毎日の使い方

電波時計の使い方 (ER-110SⅢWのみ)

- ER-110SⅢWでは自動的に標準電波を受信し時刻の補正を行いません。標準電波を受信できる環境でお使いの場合は、自動時刻補正されますので時刻の修正を行なう必要はありません。

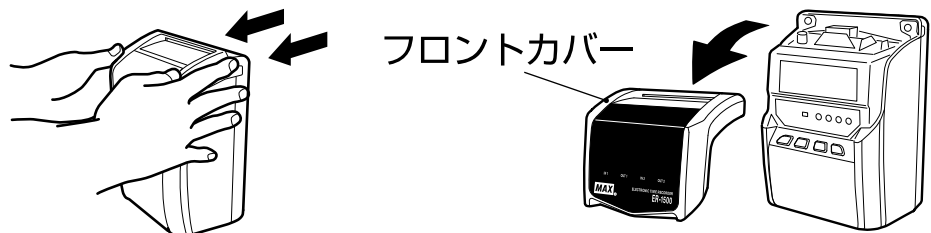
自動時刻補正

- ER-110SⅢWでは設定した日付変更時刻 (初期設定AM3:00) の30分後に自動的に電波を受信し、正常に受信できた場合にタイムレコーダの時刻補正を行いません。

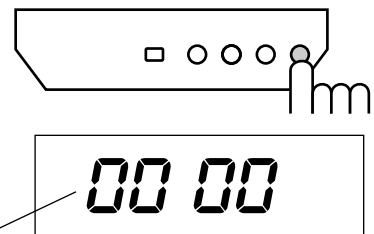
強制時刻補正

- ER-110SⅢWでは、自動時刻補正のほか、強制的に時刻補正を行なう事ができます。

- ①フロントカバーをはずします。倒れないよう、本体をおさえながら行ってください。



- ② **強制受信** ボタンを約3秒間押し続けます。
→時計表示が **00 00** になり受信を開始します。
時刻補正動作は3~5分程度かかります。
(受信完了まで最大13分かかります。)



時刻補正中の画面表示

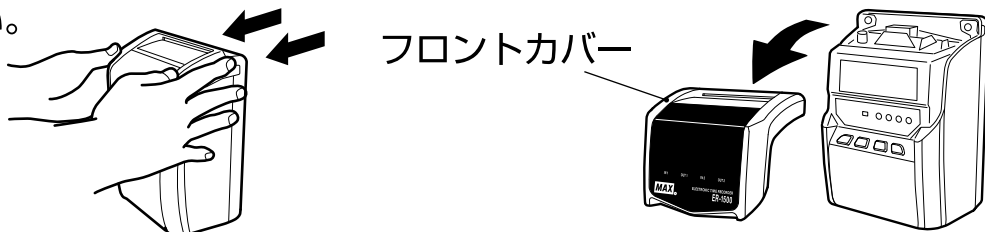
- 次の場合は時刻補正動作を中断または行ないません。
 - ①時刻補正動作中にキー入力を行なった場合。
 - ②設定操作中に自動時刻補正を行なう時刻になった時。
 - ③タイムカードへの印字中に自動時刻補正を行なう時刻になった時。
 - ④停電中に自動時刻補正を行なう時刻になった時、および時刻補正動作中に停電した時。
- 次の場合はタイムレコーダの日付と実際の日付が合わなくなります。
 - ①午前0時前後で時刻補正の結果、日付をまたいで時刻が補正された場合。
例) タイムレコーダの時刻=23:59 → 補正後の時刻=0:01
(この場合、時刻は補正されますが日付は進みません。)
このため、午前0時前後に自動時刻補正を行なうような日付変更時刻 (23:30前後) の設定や、午前0時前後の強制時刻補正は行なわないでください。
- 日付変更時刻 (初期設定AM3:00) の前後30分は強制受信できません。

③ 毎日の使い方

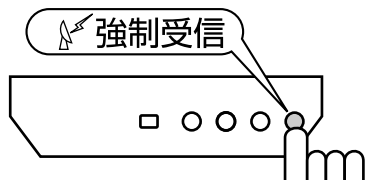
電波時計を使ってみましょう (ER-110SⅢWのみ)

強制受信して受信状況を確認してください

- ① フロントカバーをはずします。倒れないよう、本体をおさえながら行ってください。



- ② **強制受信** ボタンを約3秒間押し続けます。
→時計表示が **00 00** になり受信を開始します。
時刻補正動作は3~5分程度かかります。
(受信完了まで最大13分かかります。)



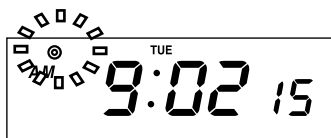
時刻補正中の画面表示

00 00

受信完了まで最大13分
かかります。

受信完了

- 受信ができると正確な時刻が表示され、表示画面左上に **◎** マークが点灯します。



正常に受信できました

- 現在のご使用環境で、自動受信が可能です。

エラー

- 電波を受信できないとエラー表示 **E-88** が表示されます。

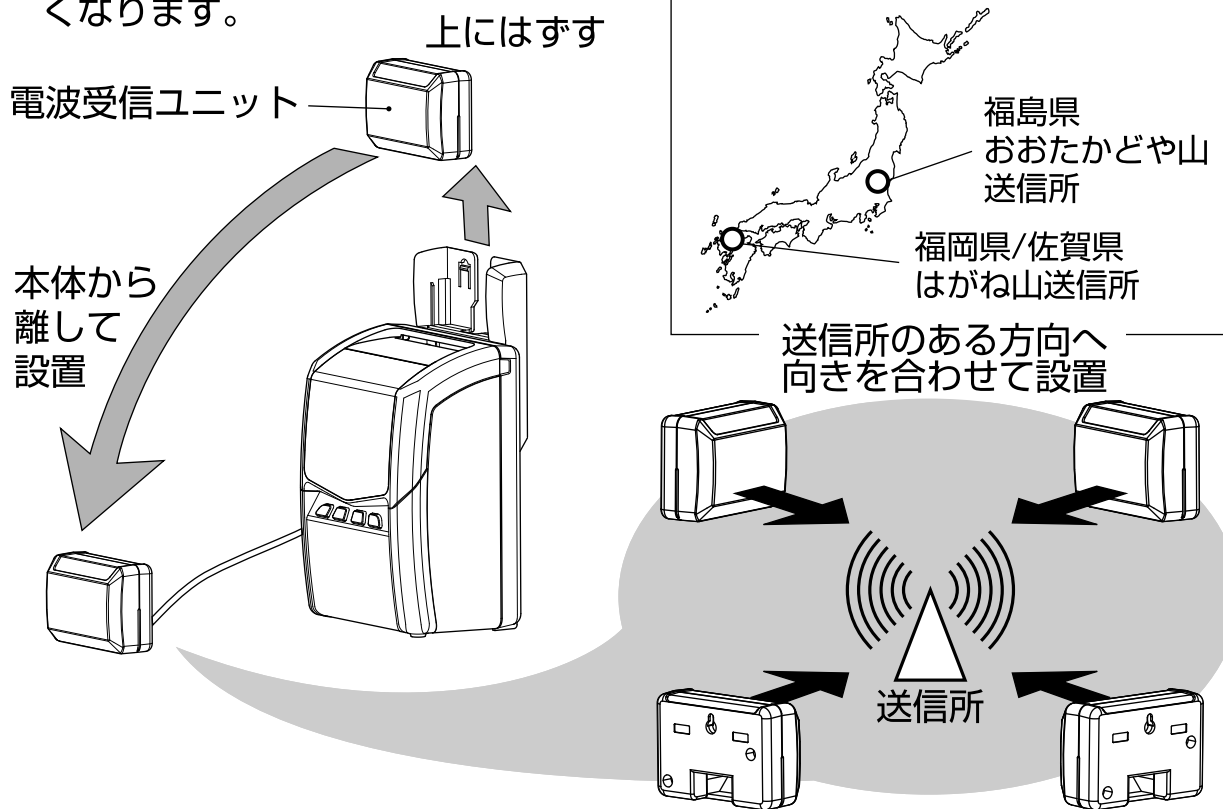
E-88

次ページの
「受信できないときは」へ

③ 毎日の使い方

受信できないときは (ER-110SⅢWのみ)

- 電波受信ユニットをはずして、タイムレコーダ本体から離れた状態のまま設置してください。送信所のある方向へ向きを合わせると受信しやすくなります。



- 電波受信ユニットをタイムレコーダ本体のすぐ近くやOA機器等の近くに設置すると、電波の受信ができず時刻補正ができない場合があります。タイムレコーダ本体、OA機器から30cm以上離して設置してください。

●もう一度、強制受信をしてください。 ⇒ 前ページ参照

- それでも受信ができない場合、そのままの状態ですべての自動受信を待ってください。自動受信は日付変更時刻（初期設定AM3:00）の30分後に行ないます。
- 自動受信でも入らない場合は、窓のそば等、P.12を参考に設置場所を変えてください。また、土、日曜日などの休日は電波状態が良くなります。土、日に受信できる可能性もあります。

- 電波時計が受信できない場合は、自動的に内部水晶式時計で動作します。

③ 毎日の使い方

毎日の操作方法

- 毎日の出勤、退勤（外出、再入）のときは、専用タイムカード「ER-Sカード」を挿入します。
- タイムカードを挿入するだけで日付、曜日、時刻が印字されます。印字欄は自動で選択されます。
- **出勤** **外出** **再入** **退勤** ボタンを押すと印字はボタン操作を優先します。
* 但し過去に戻っては打てません。

時計画面の表示

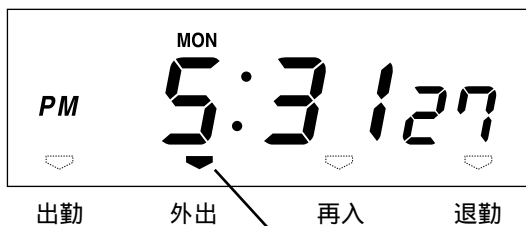
● 通常表示



- **寝かせて使う** ボタンを押すと時計表示が逆さまになり、時計は24H表示になります。
(曜日の表示はしません。)
(もう一度押すともとに戻ります。)

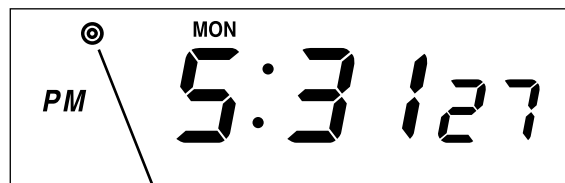


● **出勤** **外出** **再入** **退勤** ボタン優先時



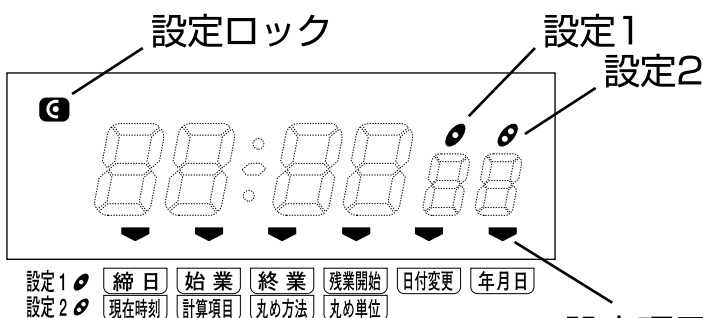
印字欄ランプ

● 電波時計使用時の表示 〈ER-110SⅢWのみ〉



時刻修正済み表示ランプ
(過去6日間以内に電波による時刻補正が正常に行なわれた場合に点灯します)

● 設定時表示



設定項目表示ランプ

③ 毎日の使い方

タイムカードの印字例

- 2欄印字設定時は日付、曜日、出勤、退勤の打刻を各1回ずつ印字します。
4欄印字設定時は日付、曜日、出勤1(出勤)、退勤1(外出)、出勤2(再入)、退勤2(退勤)の打刻を各1回ずつ印字します。
- 始業時刻、終業時刻を設定すると、遅刻マーク「チ」、早退マーク「ソ」を印字します。

2欄印字設定時

日付	出	退	出	退	出	退	時間数
1金	8:56	17:47	チ 8:30				
2土	8:48	17:44	チ 8:30				
3日	9:02	17:55	チ 8:28				
4月	8:54	16:53	チ 7:53				
5火	8:46	18:48					

4欄印字設定時

日付	出	退	出	退	出	退	時間数
1金	8:56	12:05	12:57	17:47			
2土	8:48	17:44					
3日	9:02	12:01	12:59	17:55			
4月	8:54	12:00	12:54	16:53			
5火	8:46	12:03	13:00	18:48			

所定内時間
残業時間計算を選択している場合には、「ザ」と印字します

遅刻マーク
早退マーク

日付 時刻 残業マーク

出勤1 退勤1(外出) 出勤2(再入) 退勤2

※カードの前半、後半

前半の一番上の欄には、締め日の翌日(月始め)が印字されます。

例：20締めの際は21日がカードの前半の一番上に印字されます。

④ 設定の仕方

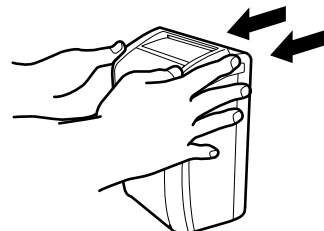
4-1 締日の設定



設定1 



- 「初期設定は20日締です。」
締日が違う場合に変更してください。
- 締日が20日のところは設定の必要はありません。
- 月末締めの場合は「31」とセットします。



- ① フロントカバーをはずします。倒れないよう、本体をおさえながら行ってください。

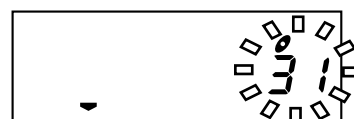


- ②  ボタンを約5秒間押し続けます。
→ピッピッピと音が3回鳴り、設定1に入ります。
この時、画面右上に  マークが点灯します。




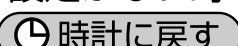
他の設定から移ってきた時は、ここから開始です。

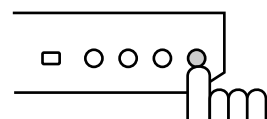
- ③  で「締日」を合わせ、
 で確定します。
→ピッピと音が2回鳴り、設定されます。



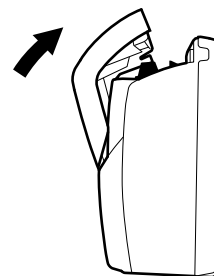
締日

これでこの項目の設定は終了です。

- ④ ●他の設定を続けて行いたい時
→  ボタンで他の設定に移れます。
●他に設定がない時
→  で時計に戻ります。




- ⑤ フロントカバーを取り付けます。



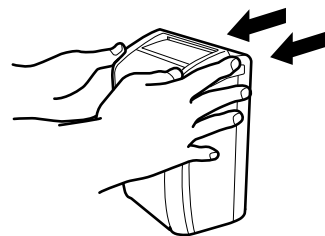
④ 設定の仕方



4-2 始業時刻の設定

設定1 


 ここを設定すると設定された時刻より後の出勤は遅刻と判断され、時刻の後に遅刻マーク「チ」を同時に印字します。
(設定時刻と同時の出勤は、遅刻マークの印字はしません。)

① フロントカバーをはずします。倒れないよう、本体をおさえながら行ってください。



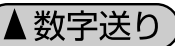

②  ボタンを約5秒間押し続けます。
→ピッピッピと音が3回鳴り、設定1に入ります。
この時、画面右上に  マークが点灯します。



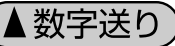

③  ボタンでオレンジのランプを項目の「始業」に合わせます。

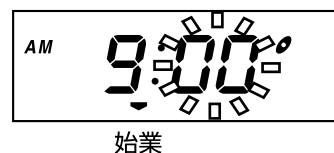


他の設定から移ってきた時は、ここから開始です。


④  で「時間」の部分を合わせ、
 で確定します。
→点滅部が「分」に移動されます。

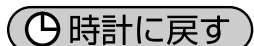


⑤  で「分」の部分を合わせ、
 で確定します。
(00分の場合、そのままセットボタン)
→ピッピと音が2回鳴り、設定されます。

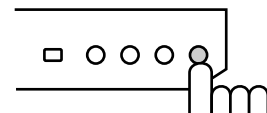



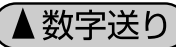
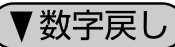
これでこの項目の設定は終了です。

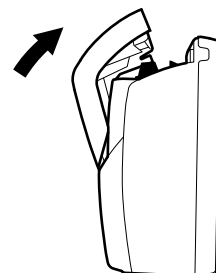
⑥ ●他の設定を続けて行いたい時
→  ボタンで他の設定に移れます。

●他に設定がない時
→  で時計に戻ります。

⑦ フロントカバーを取り付けます。



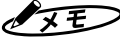
 ④、⑤の時   ボタンを同時に押すと、設定のない状態に戻ります。



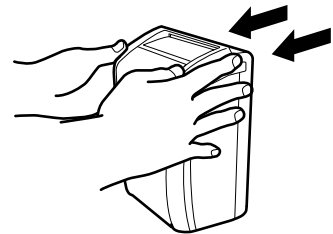
4) 設定の仕方




4-3 終業時刻の設定

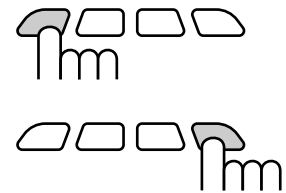
設定1 

 ここを設定すると設定された時刻より前の退勤は早退と判断され、時刻の後に早退マーク「ソ」を同時に印字します。
(設定時刻と同時の退勤は、早退マークの印字はしません。)

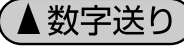

- ① フロントカバーをはずします。倒れないよう、本体をおさえながら行ってください。

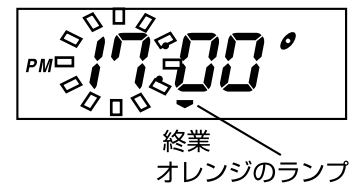




- ②  ボタンを約5秒間押し続けます。
→ピッピッピと音が3回鳴り、設定1に入ります。
この時、画面右上に  マークが点灯します。
- ③  ボタンでオレンジのランプを項目の「終業」に合わせます。

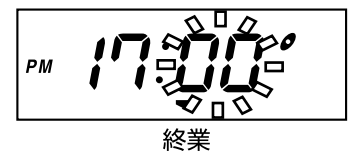


他の設定から移ってきた時は、ここから開始です。


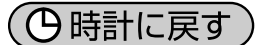
- ④  で「時間」の部分に合わせて、
 で確定します。
→点滅部が「分」に移動されます。

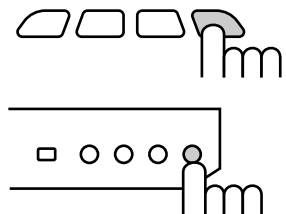


- ⑤  で「分」の部分に合わせて、
 で確定します。
(00分の場合、そのままセットボタン)
→ピッピと音が2回鳴り、設定されます。


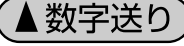
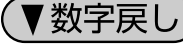


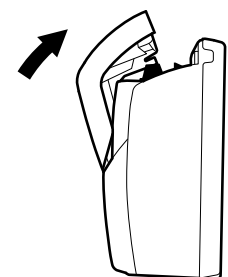
これでこの項目の設定は終了です。

- ⑥ ●他の設定を続けて行いたい時
→  ボタンで他の設定に移れます。
- 他に設定がない時
→  で時計に戻ります。



- ⑦ フロントカバーを取り付けます。


 ● ④、⑤の時   ボタンを同時に押すと、設定のない状態に戻ります。
●終業時刻を日付変更時刻と同時刻に設定すると、所定内時間は0時間になります。



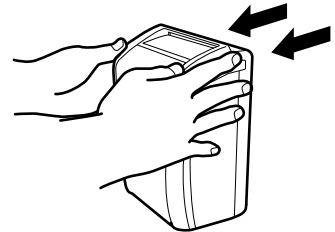
4 設定の仕方




4-4 残業開始時刻の設定

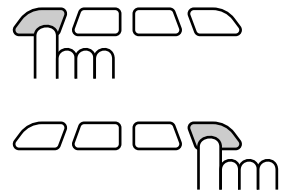
設定1 

 ここを設定すると設定された時刻より後の退勤は残業と判断され、時刻の後に残業マーク「ザ」を同時に印字します。
(設定時刻と同時の退勤は、残業マークの印字はしません。)

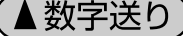

① フロントカバーをはずします。倒れないよう、本体をおさえながら行ってください。



- ②  ボタンを約5秒間押し続けます。
→ピッピッピと音が3回鳴り、設定1に入ります。
この時、画面右上に  マークが点灯します。
- ③  ボタンでオレンジのランプを項目の「残業」に合わせます。

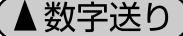



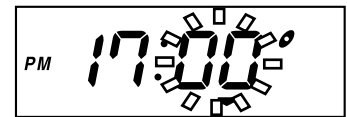
他の設定から移ってきた時は、ここから開始です。

- ④  で「時間」の部分を合わせ、
 で確定します。
→点滅部が「分」に移動されます。





オレンジのランプ

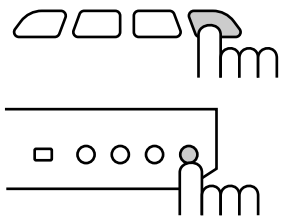
- ⑤  で「分」の部分を合わせ、
 で確定します。
(00分の場合、そのままセットボタン)
→ピッピと音が2回鳴り、設定されます。



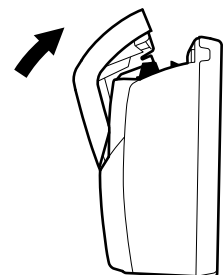
残業開始

これでこの項目の設定は終了です。

- ⑥ ●他の設定を続けて行いたい時
→  ボタンで他の設定に移れます。
- 他に設定がない時
→  で時計に戻ります。
- ⑦ フロントカバーを取り付けます。



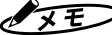
 ● ④、⑤の時   ボタンを同時に押すと、設定のない状態に戻ります。



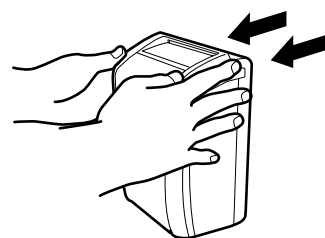
4 設定の仕方



4-5 日付変更時刻の設定

設定1 


-  ●ここで設定された時刻はタイムレコーダ上の日付が変わる時刻です。(印字の行を変える時刻)
この時刻をまたいで働くと退勤が出勤より1行下に出勤として印字されてしまいます。
- 「初期設定は夜中の3時です。」この時刻をまたいで働かれる方がいないところでは、設定を変える必要はありません。

① フロントカバーをはずします。倒れないよう、本体をおさえながら行ってください。



②  ボタンを約5秒間押し続けます。
→ピッピッピと音が3回鳴り、設定1に入ります。
この時、画面右上に  マークが点灯します。



③  ボタンでオレンジのランプを項目の「日付変更」に合わせます。



他の設定から移ってきた時は、ここから開始です。

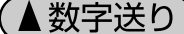
④  で「時間」の部分を合わせ、

 で確定します。

→点滅部が「分」に移動されます。



オレンジのランプ

⑤  で「分」の部分を合わせ、

 で確定します。


(00分の場合、そのままセットボタン)

→ピッピと音が2回鳴り、設定されます。



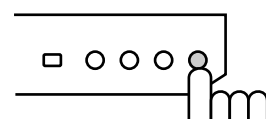
日付変更

これでこの項目の設定は終了です。

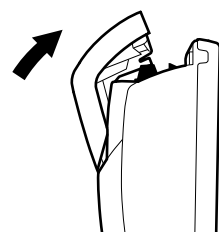
⑥ ●他の設定を続けて行いたい時
→  ボタンで他の設定に移れます。

●他に設定がない時

→  で時計に戻ります。



⑦ フロントカバーを取り付けます。



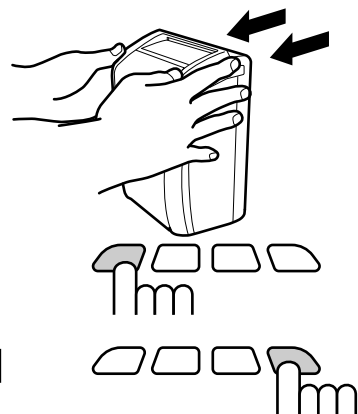
4 設定の仕方




4-6 西暦年月日の合わせ方

設定1 

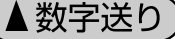

 工場出荷時に西暦年、月、日は設定されていますので、改めて設定する必要はありません。

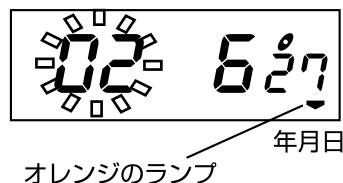
① フロントカバーをはずします。倒れないよう、本体をおさえながら行ってください。


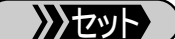


- ②  ボタンを約5秒間押し続けます。
→ピッピと音が3回鳴り、設定1に入ります。
この時、画面右上に  マークが点灯します。
- ③  ボタンでオレンジのランプを項目の「年月日」に合わせます。

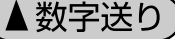

他の設定から移ってきた時は、ここから開始です。

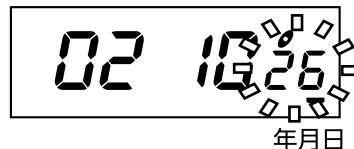
- ④  で「年」の部分を合わせ、
 で確定します。
→点滅部が「月」に移動されます。




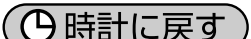
- ⑤  で「月」の部分を合わせ、
 で確定します。
→点滅部が「日」に移動されます。

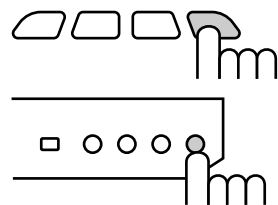


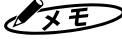
- ⑥  で「日」の部分を合わせ、
 で確定します。
→ピッピと音が2回鳴り、設定されます。

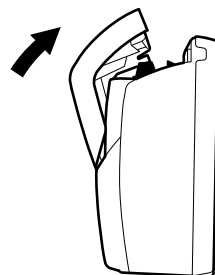


これでこの項目の設定は終了です。

- ⑦ ●他の設定を続けて行いたい時
→  ボタンで他の設定に移れます。
- 他に設定がない時
→  で時計に戻ります。
- ⑧ フロントカバーを取り付けます。




 工場出荷時に西暦年、月、日は設定されていますので、改めて設定する必要はありません。
西暦年月日を変更すると正常に打刻できない場合があります。



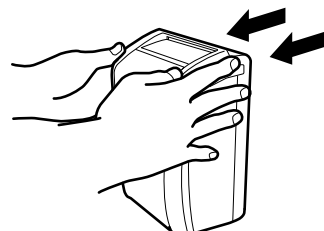
4 設定の仕方



4-7 現在時刻の合わせ方

設定2 

-  ●工場出荷時に現在時刻は設定されていますので、改めて設定する必要はありません。
- 時刻は24H表示で入力します。



①フロントカバーをはずします。倒れないよう、本体をおさえながら行ってください。

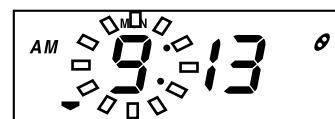


②  ボタンを約5秒間押し続けます。
→ピッピッピと音が3回鳴り、設定2に入ります。
この時、画面右上に  マークが点灯します。
(1分以上何も押さないと自動的に時計に戻ります。)





他の設定から移ってきた時は、ここから開始です。

③  で「時間」の部分を合わせ、
 で確定します。
→点滅部が「分」に移動されます。



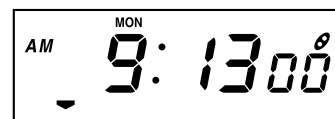
現在時刻

④  で「分」の部分を合わせ、
 で確定します。
→ピッピと音が2回鳴り、設定されます。




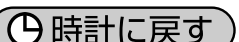
現在時刻

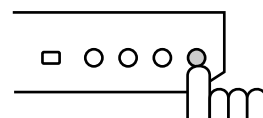
⑤時計が歩針を始めます。
(この時セットボタンを押すと、再び00秒から歩針します。)



現在時刻

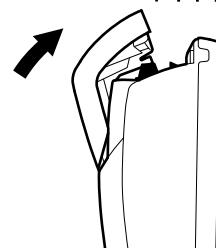
これでこの項目の設定は終了です。

⑥ ●他の設定を続けて行いたい時
→  ボタンで他の設定に移れます。
●他に設定がない時
→  で時計に戻ります。



⑦フロントカバーを取り付けます。

 ⑤の時  ボタンを押すと、再設定が出来ます。



4 設定の仕方

4-8 計算項目の設定

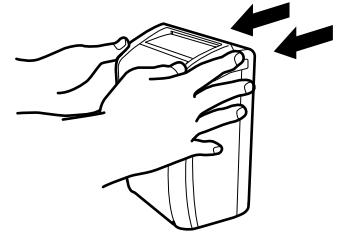
設定2 





「初期設定は4欄印字です。」


計算を行う場合は所定内時間計算または残業時間計算を選択してください。

- ① フロントカバーをはずします。倒れないよう、本体をおさえながら行ってください。



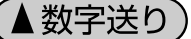

- ②  ボタンを約5秒間押し続けます。
→ピッピッピと音が3回鳴り、設定2に入ります。
この時、画面右上に  マークが点灯します。
(1分以上何も押さないと自動的に時計に戻ります。)

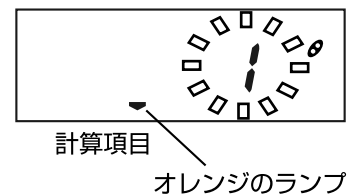


- ③  ボタンでオレンジのランプを項目の「計算項目」に合わせます。



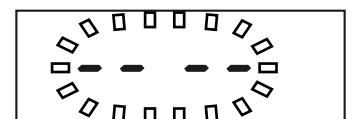
他の設定から移ってきた時は、ここから開始です。

- ④  で「計算項目」の部分进行合わせ、
 で確定します。
→ピッピと音が2回鳴り、5秒間右図の様表示が点滅し、設定されます。





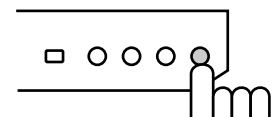
計算項目のコード番号と計算内容

- 1 : 4欄印字 (計算無し)
- 2 : 2欄印字 (所定内時間計算)
- 3 : 2欄印字 (残業時間計算)



これでこの項目の設定は終了です。

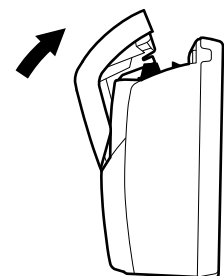
- ⑤ ●他の設定を続けて行いたい時
→  ボタンで他の設定に移れます。
●他に設定がない時
→  時計に戻す で時計に戻ります。



- ⑥ フロントカバーを取り付けます。



④の時   ボタンを同時に押し、初期設定に戻ります。



4) 設定の仕方

4-8 計算項目の設定 (つづき)

設定2 




- 2 欄印字（所定内時間計算）を選択した場合、時間数はカードに所定内時間数マーク「ショ」と共に印字します。
- 2 欄印字（残業時間計算）を選択した場合、時間数はカードに残業時間数マーク「ザ」と共に印字します。このとき残業開始時刻が設定されていない場合、計算結果は全て「0 : 0 0」となります。
- 計算項目を変更すると、その日の打刻データはすべてクリアされます。

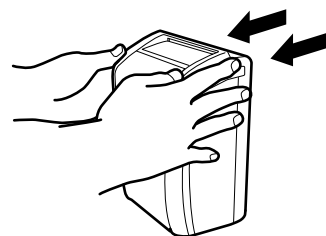
④ 設定の仕方



4-9 丸め方法の設定

設定2 


 計算を行う場合の丸め方法を設定します。
「初期設定は時刻丸めです。」

- ① フロントカバーをはずします。倒れないよう、本体をおさえながら行ってください。



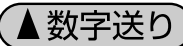

- ②  ボタンを約5秒間押し続けます。
→ピッピピと音が3回鳴り、設定2に入ります。
この時、画面右上に  マークが点灯します。
(1分以上何も押さないと自動的に時計に戻ります。)

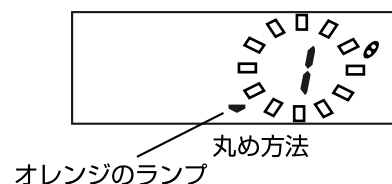


- ③  ボタンでオレンジのランプを項目の「丸め方法」に合わせます。



他の設定から移ってきた時は、ここから開始です。


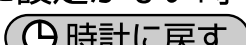
- ④  「数字送り」で「丸め方法」の部分进行合わせ、
 で確定します。
→ピッピと音が2回鳴り、設定されます。

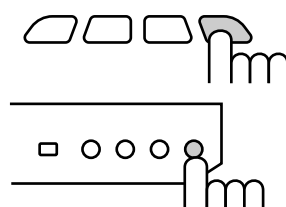


丸め方法のコード番号と計算内容

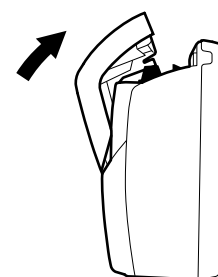
- 1 : 時刻丸め (打刻した時刻を丸め単位に従って丸めます。)
- 2 : 時間丸め (計算した時間数を丸め単位に従って丸めます。)




これでこの項目の設定は終了です。

- ⑤ ●他の設定を続けて行いたい時
→  ボタンで他の設定に移れます。
●他に設定がない時
→  時計に戻す で時計に戻ります。



- ⑥ フロントカバーを取り付けます。




 ④の時  「数字送り」  「数字戻し」 ボタンを同時に押すと、初期設定に戻ります。

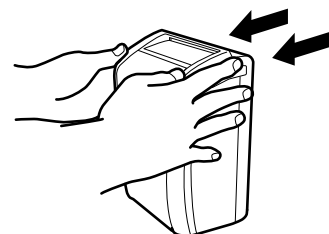
4) 設定の仕方



4-10 丸め単位の設定

設定2 


 計算を行う場合の丸め単位を設定します。
「初期設定は1分です。」

① フロントカバーをはずします。倒れないよう、本体をおさえながら行ってください。



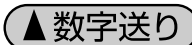

②  ボタンを約5秒間押し続けます。
→ピッピッピと音が3回鳴り、設定2に入ります。
この時、画面右上に  マークが点灯します。
(1分以上何も押さないと自動的に時計に戻ります。)

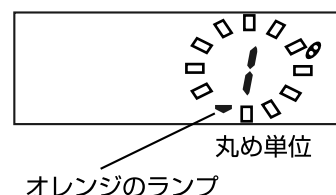


③  ボタンでオレンジのランプを項目の「丸め単位」に合わせます。





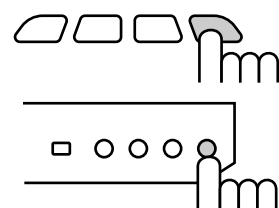
他の設定から移ってきた時は、ここから開始です。

④  「数字送り」で「丸め単位」の部分を合わせ、
 で確定します。
→ピッピと音が2回鳴り、設定されます。

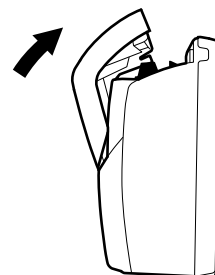





これでこの項目の設定は終了です。

⑤ ●他の設定を続けて行いたい時
→  ボタンで他の設定に移れます。
●他に設定がない時
→  時計に戻す で時計に戻ります。



⑥ フロントカバーを取り付けます。



 ●④の時  「数字送り」  「数字戻し」 ボタンを同時に押すと、初期設定に戻ります。
●丸め単位は1分、5分、10分、15分、20分、30分、60分のいずれかの単位を選択してください。

⑤ インクリボンの交換方法

印字がうすくなったら早めに専用インクリボン・ER-IR100（別売）と交換してください。

*インクの補充はできません。お求めは、タイムレコーダをお買い上げになったお店またはお近くの文具・事務機販売店にご用命ください。

⚠ 注意



●プリンタヘッドには絶対にさわらないでください。印字直後のプリンタヘッドは高温になっており、やけどの原因になります。

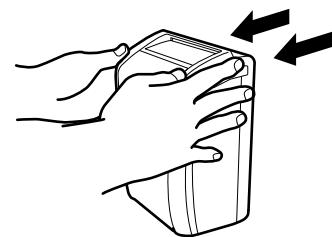


●インクリボンの交換の際には、必ず電源プラグを抜いてください。本機が不意に動作した時、けがの原因になります。

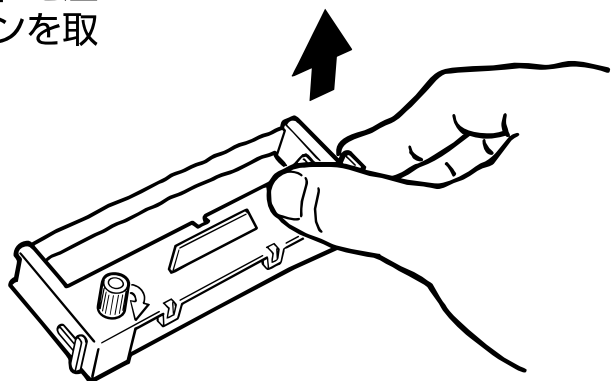
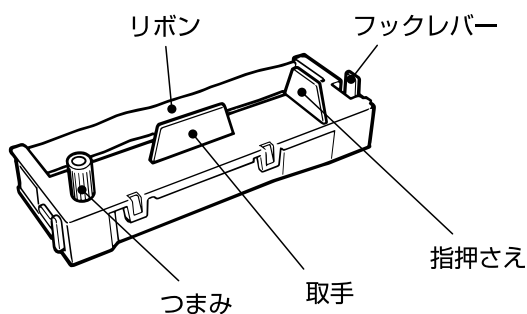


●インクリボンの交換の際、万一、指や体にインクが付着した場合は、すぐに石鹸水で洗い流してください。

- ①フロントカバーをはずします。倒れないよう、本体をおさえながら行ってください。

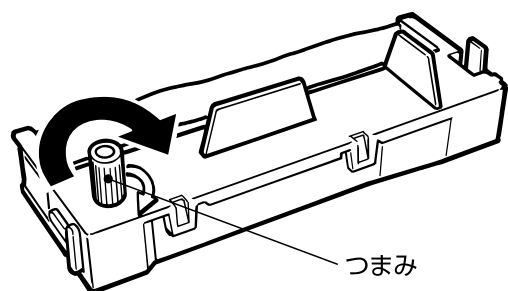


- ②リボンカセットの「指押さえ」と「フックレバー」を右手の親指と人差し指ではさみ、そのまま持ち上げます。次に「取手」を左手でつまんで持ち上げ、インクリボンを取り外します。



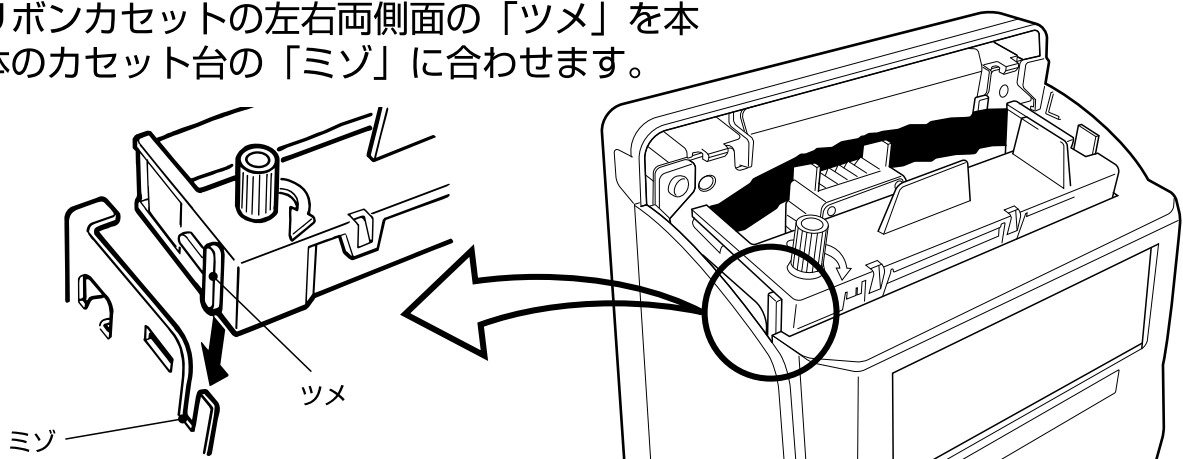
- ③新しいリボンカセットを取りだし、「つまみ」を必ず矢印の方向に回して、リボンのたるみを取ります。

（エンドレスリボンです。たるみを取るために巻き取った部分も使えます。ピンと張るまで十分に巻いてください）
逆に巻くと使用できなくなります。



⑤ インクリボンの交換方法

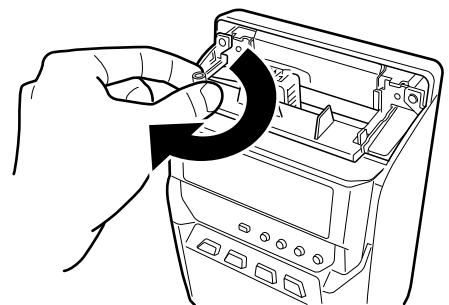
- ④ リボンカセットの左右両側面の「ツメ」を本体のカセット台の「ミゾ」に合わせます。



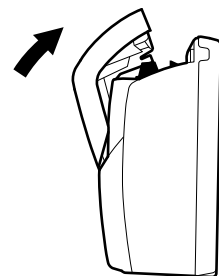
- ⑤ リボンカセットの「つまみ」を回しながら、「リボン」が「プリンターヘッド」と「マスク板」の間になるよう、カチッと音がするまで押しつける。（きちんとセットされていないとリボンが送られない場合があります）



- ⑥ リボンカセットのつまみを矢印の方向に回して、リボンのたるみを取ります。この時、リボンが正しくセットされているか、リボンのねじれがないか確認してください。



- ⑦ フロントカバーを取りつけます。



- ⑧ 電源コードを差し込み、未使用のタイムカードを入れて印字が正常であることを確認してください。

⑥ こんな時は

故障と思われる前にご確認ください。

現 象	チェック方法	処 置
カード印字しない	インクリボンを正しくセットしていますか	インクリボンを正しくセットしてください
タイムカードが入らない	カードの曲がり、破損はないですか	新しいカードをご使用ください
カードが入ったまま出てこない	印字途中、電源コードが抜かれていますか	電源コードを抜き、差し込み直してください
印字する段がずれる	印字中に押し込んだり、ひっぱったりしていませんか	カードは自動送りされますので軽く差し込んでください
印字がうすい	インクリボンを永く使っていますか	インクリボンを新しいものと交換してください
電波受信マーク がつかない (ER-110SⅢWのみ)	設置場所は適切ですか	受信しやすい場所で受信する ●窓の近く ●電化製品やOA機器から離す ●電波受信ユニットをタイムレコーダ本体から離す ●電波受信ユニットを送信アンテナのある方向に向ける
	自動受信の設定時刻は適切ですか	昼間よりも深夜の方が電波状態が良くなり受信しやすくなります

- 以上の処置を行っても、正常に復帰できない場合は、お買い上げ店またはお近くのマックスサービス(株)窓口まで、ご相談ください。

⑦ エラー一覧

カード操作中に、エラー音（ピッピッピッ）が鳴りエラー表示をします。エラーコードを確認して処置を行ってください。

エラーコード	内 容	処 置
E-00	自動送りされる位置まで、タイムカードが入っていない	タイムカードが自動送りされるまで、軽く押し込んでください
E-01	カードの表裏上下が間違っている	カードを正しい向きで入れてください。 締日を確認してください。 締日の翌日がカードの前半の1段目に打刻されます
E-02	パンチ穴が正常に読めない	カードが自動送りされたら、手を離してください。 カードの曲がりなどがいないか確認してください
E-04	<ul style="list-style-type: none"> ●すでに退勤打刻が終了しています ●すでに打刻済みの印字欄を選択して打刻しようとした 	<ul style="list-style-type: none"> ●日付変更時刻を過ぎた退勤打刻はできません ●同じ印字欄には打刻できません
E-05	本日の使用人数が50名(印字のみ:150名)を越えています	
E-15	使用できないボタンを押した	2欄印字を選択しているときは 外出 再入 ボタンは使用できません
E-6900 E-6901	自動送りされても、カードがスムーズに入っていない	E-02と同様の処置を行ってください
E-88 (ER-110SⅢWのみ)	<ul style="list-style-type: none"> ●電波による時刻補正ができない ●電波による時刻補正が中断された 	<ul style="list-style-type: none"> ●電波受信ユニットの設置位置を移動して確認してください ●時刻補正動作中にはキー入力はできません
E-EE	プリンター異常	電源プラグを抜き差ししてください

⑧ 商品仕様

商品名	ER-110SⅢ	ER-110SⅢW
電源	AC100V	50/60Hz
外形寸法	200(H)X150(W)X100(D)mm	262(H)X150(W)X119(D)mm (電波受信ユニット装着時)
質量	2.0Kg	2.2Kg (電波受信ユニット装着時)
消費電力	通常5W	最大25W
時計機構	水晶発振式	電波時計、水晶発振式
表示管	蛍光表示管	
表示内容	日付、曜日、時分、AM/PM	
印字方式	インパクトドット方式	
印字内容	日付、曜日、時分、時間数、(チ)、(ソ)、(ザ)、(ショ)	
メモリー保持	工場出荷時より停電累計5年間	
使用人数	最大50人(打刻のみで使用する場合は最大150人)	
タイムカード	専用カード「ER-Sカード」	
インクリボン	専用インクリボン「ER-IR100」	
使用温度	0℃～40℃	
保存温度	-20℃～60℃	

⑨ 保証書とアフターサービス

保証書について

- 保証期間中万一故障した場合、保証書記載内容に基づき無料修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間後の修理は、お買い求めの販売店、当社営業所、またはマックスサービス(株)窓口にご相談ください。修理によって機能が維持出来る場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。
- お客様登録カード：お客様登録カードに所定事項をご記入の上FAXにて送信するかハガキ部分をご投函ください。マックスお客様リストに登録し、アフターサービスに活用させていただきます。

アフターサービスについて

- お買い求めの販売店、または当社営業所、マックスサービス(株)にご相談ください。
- 持ち込み修理：修理品を販売店、またはマックスサービス(株)の窓口にお持ち込みください。

※専用タイムカード「ER-Sカード」、専用インクリボン「ER-IR100」のお求めは、タイムレコーダをお買い上げになったお店またはお近くの文具・事務機販売店にご用命ください。

この取扱説明書は再生紙を使用しています。



本社・営業本部	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町 6 - 6	TEL(03)3669-8100(代)
札幌支店	〒060-0041	札幌市中央区大通東 6 - 12 - 8	TEL(011)261-714(代)
仙台支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東 2 - 1 - 29	TEL(022)236-412(代)
東京支店	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町 6 - 6	TEL(03)3669-814(代)
名古屋支店	〒461-0025	名古屋市東区徳川 1 - 11 - 23	TEL(052)935-853(代)
大阪支店	〒553-0004	大阪市福島区玉川 1 - 3 - 18	TEL(06)6444-203(代)
広島支店	〒733-0035	広島市西区南観音 7 - 11 - 24	TEL(082)291-633(代)
福岡支店	〒812-0006	福岡市博多区上牟田 1 - 5 - 1	TEL(092)411-541(代)
盛岡営業所	〒020-0824	盛岡市東安庭 2 - 10 - 3	TEL(019)621-354(代)
南九州営業所	〒891-0115	鹿児島市東開町 3 - 24	TEL(099)269-534(代)
新潟マックス(株)	〒955-0081	三条市東裏館 2 - 14 - 28	TEL(0256)34-211(代)
群馬マックス(株)	〒371-0844	前橋市古市町 2 3 3 - 5	TEL(027)210-775(代)
埼玉マックス(株)	〒331-0823	さいたま市北区日進町 3 - 421	TEL(048)651-534(代)
千葉マックス(株)	〒284-0001	四街道市大日 1 8 7 0 - 1	TEL(043)422-740(代)
横浜マックス(株)	〒241-0822	横浜市旭区さちが丘 7 - 6	TEL(045)364-566(代)
長野マックス(株)	〒399-0033	松本市笹賀 8 1 5 5	TEL(0263)26-437(代)
静岡マックス(株)	〒422-8036	静岡市敷地 1 - 3 - 26	TEL(054)237-611(代)
金沢マックス(株)	〒921-8061	金沢市森戸 2 - 1 5	TEL(076)240-187(代)
京滋マックス(株)	〒612-8414	京都市伏見区竹田段ノ川原町 9	TEL(075)645-506(代)
兵庫マックス(株)	〒652-0832	神戸市兵庫区鍛冶屋町 2 - 1 - 2	TEL(078)652-737(代)
岡山マックス(株)	〒700-0971	岡山市野田 3 - 23 - 28	TEL(086)246-951(代)
四国マックス(株)	〒761-8056	高松市上天神町 7 6 1 - 3	TEL(087)866-559(代)
徳島営業所	〒770-0866	徳島市末広 1 - 4 - 25	TEL(088)623-028(代)
松山営業所	〒790-0951	松山市天山 2 - 1 - 35	TEL(089)913-060(代)
マックスサービス(株)札幌	〒060-0041	札幌市中央区大通東 6 - 12 - 8	TEL(011)231-648(代)
マックスサービス(株)仙台	〒984-0002	仙台市若林区卸町東 2 - 1 - 29	TEL(022)237-077(代)
マックスサービス(株)高崎	〒370-0031	高崎市上大類町 4 1 2	TEL(027)350-782(代)
マックスサービス(株)埼玉	〒331-0823	さいたま市北区日進町 3 - 421	TEL(048)667-644(代)
マックスサービス(株)名古屋	〒461-0025	名古屋市東区徳川 1 - 11 - 23	TEL(052)935-821(代)
マックスサービス(株)大阪	〒553-0004	大阪市福島区玉川 1 - 3 - 18	TEL(06)6446-081(代)
マックスサービス(株)広島	〒733-0035	広島市西区南観音 7 - 11 - 24	TEL(082)291-567(代)
マックスサービス(株)福岡	〒812-0006	福岡市博多区上牟田 1 - 5 - 1	TEL(092)451-643(代)

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。 03 05 Vol.2

ホームページアドレス:<http://www.max-ltd.co.jp/op/>